事務事業評価シート一覧　令和 7 年度事後評価　スポーツ振興課　令和 8 年 11 月 1 日

(1)所管事業の評価

総合評価の割合	期待を上回る	概ね順調	限定的効果	成果不十分
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

(2)所管事業のコスト(単位:千円)

	R4決算	R5決算	R6決算	R7決算	R8見込	R4～R7合計	事業費に占める一般財源の比率
事業費 総額	42,374	158,813	155,840	165,679	165,679	522,706	94.8%
市の実質負担額 総額	20,514	155,521	155,802	163,440	165,557	495,277	

No.	05010	事業名	スポーツ振興事業	重点P	-	総合評価	概ね順調
				事業コード	42600	担当課	スポーツ振興課

事業概要
市民がスポーツを通じて交流を広げ、心身の健康と生きがいづくりを増進するため、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントやスポーツ大会を開催する団体等に補助金を交付する。スポーツ大会を通して市のPRを行える大会等に対して補助金を交付する。

経緯等
各団体・実行委員会等が、スポーツを通じて市民の一体感を醸成するため、各種スポーツイベントやスポーツ大会を開催。

ロジックモデル

活動・実施内容	産出(アウトプット)	成果(アウトカム)
各種大会・スポーツイベントの運営補助。	各種大会・スポーツイベントの参加者数が5,000人となる。	市民のスポーツ活動を促進し、健康増進とスポーツ実施率の向上を図る。

指標

		R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
活動指標ア	各種大会・イベント等開催数	7	7	7	6	7	7
活動指標イ		0	0	0	0	0	0
成果指標ア	各種大会・イベント等参加者数	2,030	3,835	4,301	3,981	4,545	5,000
成果指標イ		0	0	0	0	0	0

費用(千円)

	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
一般財源・基金等市の実質負担額	7,207	7,100	8,083	5,534	7,723	
その他(補助金・地方債等)	0	0	0	0	0	
歳出額(総額)	7,207	7,100	8,083	5,534	7,723	

課題等
市民のスポーツ実施率向上に寄与すべく、一層のイベント内容の充実と周知が必要。
イベントによっては参加者が減少傾向にあるため、周知方法について検討が必要。

令和8年度の方針
各種スポーツイベントの運営補助を実施。
旭市民駅伝大会、世界ユース卓球選手権大会日本代表選考会、パラ卓球ナショナルチーム合宿、あさひスポーツフェスティバルへの補助金の交付。

No.	05020	事業名	競技団体の支援	重点P	-	総合評価	概ね順調
				事業コード	42600	担当課	スポーツ振興課

事業概要
①スポーツ協会、②スポーツ少年団の各種競技団が行うスポーツ活動を支援するため、団体運営費に対して補助金を交付する。
団体の活動支援を継続実施することにより、市民のスポーツ活動の促進を図る。

経緯等
各種団体がスポーツを通じて市民の一体感を醸成するための活動を支援する。

ロジックモデル

活動・実施内容	産出(アウトプット)	成果(アウトカム)
スポーツ団体の活動支援	補助金交付団体が令和8年度の事業計画に記載されている大会・イベントに参加する。	スポーツ団体の活性、強化

指標

		R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
活動指標ア	補助金(運営費)交付団体数	2	2	2	2	2	2
活動指標イ		0	0	0	0	0	0
成果指標ア	補助金交付団体が参加・主催・後援等するスポーツイベント・交流大会数	9	13	11	8	13	13
成果指標イ		0	0	0	0	0	0

費用(千円)

	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
一般財源・基金等市の実質負担額	2,527	2,742	2,692	2,699	2,794	
その他(補助金・地方債等)	0	0	0	0	0	
歳出額(総額)	2,527	2,742	2,692	2,699	2,794	

課題等
少子化に伴い、スポーツ少年団が解散傾向にある。
スポーツ施設・学校開放利用施設の統廃合により、団体の活動場所が限られてしまうため団体間の調整が必要。

令和8年度の方針
団体が実施するイベントの周知および活動の支援をおこない、事業の円滑なサポートをする。
全国大会奨励金の申請受付を滞りなく実施する。

重点P	－	総合評価	概ね順調

No.	05030	事業名	スポーツ施設管理運営	事業コード	42750	担当課	スポーツ振興課

事業概要

社会体育施設（12施設）の運営管理を民間事業者に委託することで、民間事業者が保有するノウハウを活用した施設の運営管理が可能となり、市民サービス及び施設利便性の向上、効率的な施設の維持管理を図る。また、その他スポーツ施設（弓道場、スポーツ広場等）は引き続き市で運営管理を行う。

経緯等

令和5年度から社会体育施設（12施設）の運営管理を民間事業者へ委託したことに伴い、スポーツ施設管理運営費を新設し、従前の社会体育施設管理費、総合体育館管理費、コミュニティ広場管理費、健康づくり運動推進事業を統合した。

ロジックモデル

活動・実施内容	産出(アウトプット)	成果(アウトカム)
スポーツ施設の良好な環境を整えるため、維持補修を行う。	住民のスポーツ施設の利用促進が図られ、スポーツ施設利用者数が20万人となる。	スポーツ施設利用者が安全かつ快適に施設を利用でき、住民のスポーツ実施の意識の向上が図られる。

指標

		R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
活動指標ア	使用料	－	21,445	24,369	25,015	25,666	25,666
活動指標イ	修繕料	－	11,272	12,823	14,025	14,982	14,982
成果指標ア	施設の延べ利用者数	－	152,490	158,575	176,941	170,000	200,000
成果指標イ		0	0	0	0	0	0

費用（千円）

	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
一般財源・基金等市の実質負担額	－	126,284	132,277	135,272	136,023	
その他(補助金・地方債等)	－	38	38	39	35	
歳出額(総額)	0	126,322	132,315	135,311	136,058	

課題等

・施設の維持管理において燃料費、光熱水費、各種物価が高騰しており、コスト縮減・効率的な施設運営を検討・実施していく必要がある。
・施設の老朽化に伴い、個別施設計画による施設の長寿命化や類似施設の廃止・統廃合及び緊急度に応じて修繕箇所を検討する必要がある。
・今の地域の状況などを鑑みながら、施設の利用者増となるための方策の検討が必要。
・利用者や活動内容が多様化しており、状況に合わせた対応が必要である。

令和8年度の方針

社会体育施設（12施設）は利用者のニーズに応じたスポーツ教室、イベントの開催及び新規サービスの提供等により更なる施設利用者の増加を図る。
その他スポーツ施設のうち弓道場は、個別施設計画に基づき計画的に修繕工事を行い、長寿命化を推進する。
スポーツ広場等は施設の利用状況を考慮し、今後の方向性を検討する。

重点P	－	総合評価	概ね順調

No.	05040	事業名	社会体育施設改修事業	事業コード	43200	担当課	スポーツ振興課

事業概要

旭市総合体育館、旭スポーツの森公園野球場、旭スポーツの森公園庭球場、旭市弓道場、旭文化の杜公園庭球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡体育館・野球場、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場、干潟さくら台野球場の各社会体育施設（12施設）の大規模な改修工事を行う。
【海上野球場は令和5年度廃止】

経緯等

平成17年7月1日の1市3町の合併から、それぞれの市町で整備された社会体育施設の良好な管理運営をするための大規模改修事業が始まった。

ロジックモデル

活動・実施内容	産出(アウトプット)	成果(アウトカム)
社会体育施設の維持・補修を行う。	住民のスポーツ施設の利用促進が図られ、スポーツ施設利用者数が20万人となる。	適正に管理された社会体育施設を住民が安心・安全に利用できるようになり、住民への良好なスポーツ環境の提供を続けられるようになる。

指標

		R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
活動指標ア	改修工事を実施した箇所数	2	4	1	6	2	2
活動指標イ		0	0	0	0	0	0
成果指標ア	社会体育施設の延べ利用者数	120,682	152,490	158,575	176,941	170,000	200,000
成果指標イ		0	0	0	0	0	0

費用（千円）

	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
一般財源・基金等市の実質負担額	2,484	12,059	4,576	11,790	10,837	
その他(補助金・地方債等)	21,700	3,000	0	2,200	0	
歳出額(総額)	24,184	15,059	4,576	13,990	10,837	

課題等

施設の老朽化に伴い、今後も改修工事の優先順位や類似施設の廃止(施設の統廃合)等の検討が必要。

令和8年度の方針

個別施設計画に基づき、計画的に施設の大規模改修工事を行い、長寿命化を推進することで、引き続き施設利用者の利用満足度の向上につなげていく。

重点P	3	総合評価	概ね順調

No.	14030	事業名	スポーツ振興事業	事業コード	42600・42690	担当課	スポーツ振興課

事業概要

【しおさいマラソン】平成元年度～・スポーツの交流・市民の健康増進のためマラソン大会を開催。≪実施団体≫旭市スポーツ協会主催、旭市・旭市教育委員会共催、旭市飯岡しおさいマラソン大会実行委員会主管≪実施時期≫2月第1日曜日≪開催種目≫2km（親子の部）、3km（小学生）、5km（中学生・一般）、ハーフマラソン（一般）≪会場≫しおさいスタジアム（旭市サッカー場）≪コース≫市内海岸通り（県道30号）
【ぽるぽろ】地域資源である海や海岸で遊びながら、自然を学び、守り、海を身近に感じながら暮らし続ける取り組み「Play（遊ぶ），Learn（学ぶ），Protect（守る） and Live（暮らす） with the Ocean（海）」にある5つのキーワードの頭文字「PLPLO」から名付けられた。海を身近に感じることができるレクリエーション活動を実施。

経緯等

【しおさいマラソン】平成元年、旧飯岡町で町民の健康増進、地域の活性化のために開始。平成23年度からは、市町村合併及び震災により旭地域を含めたコースに変更。
【ぽるぽろ】令和4年度より、海岸を地域振興のツールと位置づけ、一年を通して海岸で楽しめるような環境を整備し、市内外を問わない交流を通じた移住・定住を目指し開始。

ロジックモデル

活動・実施内容	産出(アウトプット)	成果(アウトカム)
【しおさい】市民及び全国のマラソン愛好者を対象におもてなし溢れるマラソン大会を開催。 【ぽるぽろ】市内外より集まる参加者とともに飯岡海岸を中心にしたビーチクリーン、レクリエーション活動を実施。	【しおさい】市外申込数目標2,000人とし、旭市の魅力向上を目指す。 【ぽるぽろ】イベントの認知度向上、及び市外参加者数100人を目指す。	【しおさい】大会を通して、市内外のランナーの交流が深まる。また、旭市の魅力向上（食・景観・人の温かさ等）に繋がる。 【ぽるぽろ】市内外の参加者間の交流、旭市の海への興味関心の増加に繋がる。

指標

		R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
活動指標ア	【しおさい】　市外へのチラシ配布枚数	1,885	1,996	2,258	2,238	2,300	2,500
活動指標イ	【ぽるぽろ】　市外へのチラシ配布枚数	6,385	5,880	4,725	4,790	5,000	6,000
成果指標ア	【しおさい】市外申込者数	1,220	1,434	1,438	1,535	1,800	2,000
成果指標イ	【ぽるぽろ】市外参加者数	31	65	47	81	90	100

費用（千円）

	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
一般財源・基金等市の実質負担額	8,296	7,336	8,174	8,145	8,180	
その他(補助金・地方債等)	160	254	0	0	0	
歳出額(総額)	8,456	7,590	8,174	8,145	8,180	

課題等

【しおさい】マラソン大会の参加者減少が全国的な問題となっており、しおさいマラソンの参加者も前年度比では増加しているが、コロナ禍前の水準には戻っていない。また、近い時期に近隣でも新たなマラソン大会が増設され、市外参加者の集客が課題。
【ぽるぽろ】市外在住者向けのイベント周知方法。

令和8年度の方針

【しおさい】大会PRのためのアンバサダーを起用、市外・県外の道の駅等へ大会チラシの配架、他のマラソン大会でのチラシ配布を実施。
【ぽるぽろ】令和9年度開催の「豊かな海づくり大会」の機運醸成行事を開催。県外への道の駅等へイベントチラシの配架。